

情報活用能力系統表（中学年）【R8年度】

【情報活用能力】

世の中の様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力(小学校学習指導要領解説 総則編)

| A 知識及び | B 思考力、判断力、表現力 | C 学びに向かう力・人間性等 |
|--------------------------------|--|--|
| (ア) 様々な図書や辞書を使って情報を集める | (ア) 集めた情報を分類したり、順番を付けたりして整理する | (ア) 個人情報の保護や著作権の尊重などの配慮が必要なことを理解し、それらを大切にしようとする |
| (イ) 見学・実験・観察などで情報を集める | (イ) 事実や他者の考えと自分の考え、分かっていることとたずねられていることなど、文章に書かれていることを分類して情報を整理する | (イ) 情報モラルの大切さが分かり、発信する情報の適正さを考え行動しようとする |
| (ウ) インターネットで情報を集める | (ウ) 表やグラフに表して、情報を整理する | (ウ) 自分や他人の情報を適切に取り扱おうとする |
| (エ) アンケートを作成、回収して情報を集める | (エ) 見つけた情報から、必要な情報を選択する | (エ) 身の回りにはさまざまな情報機器が利用されていることに気付くとともに、目的に応じて利用しようとする |
| (オ) 目的に応じて、タブレット等で写真を撮影する | (オ) 引用したり要約したりして情報をまとめる | (オ) コンピュータや情報通信ネットワークを協力して使おうとする |
| (カ) 資料から、必要な情報を見付ける | (カ) 大切な言葉や部分を強調してまとめたり、表現したりする | |
| (キ) 問題解決の手順はさまざまに工夫することができる | (キ) 他者の意見と自分の意見を関連させながら表現する | |
| (ク) 身近な生活でコンピュータが活用されていることに気付く | (ク) 意図する一連の活動を実現するため、どのような動きの組み合わせが必要かを考える | |
| (ケ) 自分の情報や他人の情報の大切さが分かる | (ケ) 内容の中心を明確にし、まとまりをつくったり、自分の考えと理由の関係を明確にしたりしてまとめる | |

【考えるための技法】

【順序付ける】複数の対象について、ある視点や条件に沿って対象を並び替える

【比較する】複数の対象について、ある視点から共通点や相違点を明らかにする

【分類する】複数の対象について、ある視点から共通点のあるもの同士をまとめる

【抽象化する(一般化する、統合する)】対象に関する上位概念や法則を挙げたり、複数の対象を一つにまとめたりする

【関連付ける】複数の対象がどのような関係にあるかを見付ける ある対象に関係するものを見付けて増やしていく

【多面的に見る・多角的に見る】対象のもつ複数の性質に着目したり、対象を異なる複数の角度から捉えたりする

【具体化する(個別化する、分解する)】対象に関する上位概念・規則に当てはまる具体例を挙げたり、対象を構成する下位概念や要素に分けたりする

【構造化する】考えを構造的(網構造・層構造など)に整理する

【理由付ける(原因や根拠を見付ける)】対象の理由や原因、根拠を見付けたり予想したりする

【見通す(結果を予想する)】見通しを立てる。物事の結果を予想する

※発達段階に応じて活用したり、各教科等の学習において適切に発揮したりするようにする(詳細は小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編P80～)